



# 令和元年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

宮崎北中学校区 令和元年11月21日(木)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

## ◆令和元年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『身近なふるさとを大切に思う心を育む人づくり、まちづくり』

10年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。昨年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

## ◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

### ●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 令和元年 402,524人 ⇒ 令和42年 291,719人 (27.6%減)
- ・北地域自治区の人口推移 令和元年 6,838人 ⇒ 令和42年 4,335 (36.6%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・宮崎北中学校区での活動例・ふれあい朝市事業、地産地消食育事業、イルミネーション設置事業等



▲宮崎北中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

## ◆ フリートーク

### ● トーク参加者からの意見

- 北地域が誇れるポイントは、自治会加入率が非常に高く、まとまりのあるところ。
- 近隣の国富町にスマートICが完成予定など、地域の交通の便は良くなってきているが、（交通量が増えるなら）その分、子どもたちの通学の際の安全確保に力を入れなければならない。
- 北地域には、宮崎市民族芸能に登録されている「棒踊り」や「ハレハレ」といった伝統芸能がある。特に「ハレハレ」は、県外にもあまりないインパクトがあるが、あまり知名度が高くない。地域の祭りなどでPRしていけないものかと考えている。
- 地域で開催されるイベントの中で、地域の伝統を見て体感してもらえれば、地元の人には地域の誇りを再認識してもらえ、地域外の人にもPRできる。そういった取組みを通して、伝統を将来につなげていくことも大事だと感じた。



### ● 中学生からの意見

- 北地域には歴史的な文化財が多い。瓜生野のクスノキ群や神社など、他の地域に誇れる文化財をウェブなどで発信していくべきだと思う。
- 年齢に関係なく地域での活動を通して交流できる地域だと思う。ただ、将来自分がこの地域で暮らすことを考えた場合、公共交通機関がもっと充実してほしい。
- 「ハレハレ」は自分も幼い時に本当に怖がった記憶がある。でもそういった記憶は大人になっても頭の中にも残っていくはず。県外に出ていく人にも懐かしんでもらえる、地域の誇りと思ってもらえる伝統を将来に継承していかなければと思った。
- ふるさとまつりなどは地域外の人にも知ってもらいたい魅力的なイベント。もっと他の地域にも北地域の良さをPRしていくことが必要。



### ● 傍聴席からの意見

- 宮崎北中学校の生徒数が減り、部活動の数も減ってきている。希望する部活がないため別の中学校に通う子もいるようだ。中学校の活性化は地域振興にもつながるのではと考えている。何かしらの対策をみんなで考えていかなければと思う。
- 生徒たちが問題意識をもっているところに感激し、次世代につながっていることをうれしく感じた。また、行政の支援や協力は欠かせないと感じた。

### ● 市長からの回答、感想

- 議論を交わす中で、段々と中学生からも意見が出てくるようになったのが印象的だった。中学生から公共交通充実の話があり、それに対して、地域の大人から現在地元でどのように検討しているかの説明があった。地域の将来を担っていくのは若い世代である。地域の課題を大人だけでなく中学生も一緒に考えることは大切なこと。
- 地域の課題に対しては、地域が行動することが大事。そういったものに対して、行政が支援していけるものはしっかりとバックアップしていきたい。

～参加者アンケートより～

★このようなトークを学校で地域の方と中学生とで持てたらいいなと思いました。

★中学生の意見考えが聞けてよかった（ちょっと難しかったかな...）。多様な価値観の中で子ども達に地域が何ができるのか、地域の魅力をどう発信するのか、喫緊の課題であると感じた。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室  
TEL 21-1705  
FAX 29-6547

